

2026年度採用 保育士を募集します

子どもたちは太陽と土と水で思い切り遊ぶ！

あそびは学び！

そんな保育園で、働いてみませんか

社会福祉法人ふじみ愛育会

<ふじみ愛育会の自己紹介>

○保護者と保育者が力を合わせてつくった共同保育所が始まりです

ふじみ愛育会は、1977年に保育所に入れなかった保護者による共同保育所から始まりました。1979年に社会福祉法人格を取得して「ふじみ愛育会」としてこぼと保育園を設立してから45年、富士見市で一番歴史のある保育園です。その間、2002年にふじみ野保育園、2007年に勝瀬こぼと保育園を開園し、現在3つの保育園を運営しています。

○「子どもたちが夢中になって遊びこむ」それがわたしたちの保育の土台です。

私たちは「子どもの最善の利益を考慮し、働く保護者と連携して地域の中で子どもの育ちを支える」ことを基本方針として運営してきました。私たちは、小学校就学前の子どもたちに、文字の習得や英語教育などは一切しません。そのかわり、子どもが全身をつかってあそぶ、見る、触れる、聞く、嗅ぐ、味わうという五感を働かせながら生活することで、乳幼児の時期にふさわしい生活の場を豊かに作りあげる保育を大切にしています。

太陽の光の中、土と水で思い切り遊び、身体全体を使ったりリズム遊びを楽しみ、自由にのびのびと絵を描く毎日の生活の中でこそ子どもは育っていきます。

○働きながら子育てする保護者と力をあわせ、保育者自身も学び成長する。

保育士が一人前になるには、学習と経験が必要です。ふじみ愛育会は、保育士自身が結婚・出産・子育てをしながら、一生働き続けられる職場づくりをめざしています。また、毎日働きながら子育てをしている保護者のみなさんと一緒に考えたり、共に育ちあうことを大切にしています。

私たちが運営する保育園

保育園名	開設年	定員	住所	電話番号
こぼと保育園	1979年	90名	富士見市鶴馬 2-19-43	049-256-9360
ふじみ野保育園	2002年	90名	富士見市ふじみ野東 3-7-1	049-256-8862
勝瀬こぼと保育園	2007年	90名	富士見市勝瀬 632-1	049-263-8800

<募集内容>

1. 募集人数 保育士：4名
2. 採用時期 2026年4月1日（2025年度中の採用も可）
3. 試験日程 試験日① 2025年9月28日（日） 午前9時30分から

試験日② 2025年11月16日(日) 午前9時30分から

試験日③ 2026年 1月18日(日) 午前9時30分から

※ 試験は面接試験です。(握力、背筋力検査があります)

※ 試験開始時間は、午前9時30分からです。 試験会場は、ふじみ野保育園です。

※ 試験日が都合の悪い場合、相談に応じます。

4. 応募条件 保育士資格をお持ちか2026年3月までに取得見込の方

5. 応募方法 下記あてに自筆の履歴書を送付ください。

〒354-0031 富士見市勝瀬632-1 勝瀬こぼと保育園 採用係

<労働条件>

私たちは、職員が安心して長く働き続けられる職場環境づくりをめざしています。

項目	内 容
勤 務 時 間	7時間45分+休憩時間1時間(休憩室あり) 7時から19時(2園) 20時(1園)の間でシフト制
勤 務 日 数	週5日勤務(月1回程度土曜日の勤務 勤務割表による 月曜日が振替休日)
休 日	①日曜日 ②国民の祝日に関する法律で定められた日 ③年末年始休業 12月29日~1月3日
初 任 給	短期大学卒業者初年度確定月額221,900円 (内訳:基本給184,900円+下欄の手当①+②+③) ※前歴加算制度あり
諸 手 当	①保育士職等給与調整手当 月額18,000円 ②処遇改善加算手当 月額10,000円 (経験に応じて最高40,000円まで) ③処遇改善手当Ⅲ 月額 9,000円 ④通勤手当 片道2km以上の場合、公共交通機関利用の場合支給 ⑤住居手当 家賃の1/2(上限 月額30,000円) ⑥扶養手当 扶養者一人につき月額10,000円 ⑦被服手当 年6,000円
賞 与	年2.5カ月分(初年度4月採用の場合)
初 年 度 年 収	2024年度支給実績 約394万円
昇 給	あり 1年につき1,500円
年次有給休暇	初年15日(4月採用の場合、12月までの付与日数 翌年20日付与)
夏 期 休 暇	6日(6月~9月の間に年次有給休暇とは別に有給休暇として取得できます)
特 別 休 暇	①生理休暇 ②感染症に関わる休暇 ③慶弔休暇 ④出産休暇 産前6週、産後8週+産前・産後に計2週間の加算休暇 ⑤結婚休暇 5日間 ⑥リフレッシュ休暇と祝い金 勤続満10年時 休暇5日間 お祝金 20,000円 勤続満20年時 休暇5日間 お祝金 50,000円 勤続満30年時 休暇7日間 お祝金 70,000円 勤続満40年時 休暇7日間 お祝金 70,000円

	リフレッシュ休暇を取得した際に、さらに30,000円を支給します。
その他	研修保障制度あり（参加費、交通費を法人が負担） 給食があります。昼食とおやつで月額5,000円です。

<保育士の学びを大切にしています>

研修なくしては保育士の成長はありませんし、保育士の成長なくしては良い保育はありません。私たちは、先生方が入職のときから計画的に研修を受けることを大事にしています。

<法人内の研修>

□ 初任者研修

入職1年目の職員を対象とした研修です。

- ①入職前に2日間（園の保育のようすを見学、法人の歴史を学ぶ）
- ②入職後に2回（元園長・主任を講師とした研修）
 - ・学習会1 子どもの権利を学ぶ
 - ・学習会2 こぼとの保育の特徴を学ぶ

□ 法人としての研修

ハラスメント防止、健康な体づくり、精神面での健康など

□ 各保育園内での研修

- ①三園合同研修会 全職員対象
- ②自主研修 全職員対象 各園の学習委員会が年間計画を立案 月1回（時間外）

<外部の研修>

私たちは、法人内だけでなく外部団体などが主催する研修についても、仕事として研修を位置づけて取り組んでいます。法人として研修に関する規則を作っていて、第1条で「社会福祉法人ふじみ愛育会は、保育内容及び保護者への子育て支援を充実することを目的として、職員が積極的に自己の保育理論や保育力量の向上、人格形成のために自己研鑽と共に法人以外の団体等が主催する研修を受けることを援助する。」として、次のような研修を職務として認め補助を出しています。

□ 職務として認める研修

- 保育団体合同研修集会
- 食と健康を考えるシンポジウム
- 埼玉保育の集い
- 私立保育園連盟研修
- 栄養士会研修
- 音楽教育の会
- 夏期保育セミナー
- 保育士会研修
- 埼玉県保育士キャリアアップ研修
- その他法人が特に必要と認めた研修

□ 研修費への補助制度

- ①参加費 一人年2回まで、1回につき10,000円を限度として実費補助
- ②交通費 一人年2回まで、1回につき20,000円を限度として実費補助
- ③宿泊費 一人年2泊まで、1泊につき7,000円を限度として実費補助

<先輩保育士からひとこと>

入職して10年を迎えました。私は男性ですが、気兼ねなく接することのできる先輩・後輩に囲まれながら楽しく仕事をしています。一日中裸足で過ごし、リズムや泥んこ遊びを通して心身ともに健康な子どもに育ててほしいという願いのもと、日々保育をしています。時には子どもと同じ目線に立って全力で遊びこむことで、子どもから刺激をもらったり気づかされることもたくさんあります。

残業や持ち帰りの仕事もほとんどなく、勤務時間の中で事務処理も保障されています。年休はもちろん、夏季休暇や特別休暇などもしっかり取れ、若い方や子育て中の方にも働きやすい環境だと思えます。私たちの法人には、子どものことを常に真ん中に、真剣に考えられる仲間がたくさんいます。ぜひ一緒に子どもの未来をつくる仲間になりませんか。
(岩下真也 35歳)

1年目の頃はわからず戸惑ってしまうことも多かったです。先輩の先生たちと一緒にやりながら丁寧に教えてくれたり支えてくれていたので、わからないことを気軽に相談でき、すぐに解決することが出来ました。楽しいレクや飲み会もありすぐに他の先生方と仲良くなる事ができました。子どもの主体性を大切にしている園なので、子ども達のやりたいことを思いっきり一緒に楽しむことができます。また園庭も広く、夏には水遊びや土滑りなどを開放的に楽しむことが出来ます。休みも取りやすくプライベートとの両立もしっかりでき、リフレッシュしながら楽しく働いています。(岡田麻里 26歳)

私は保育士になって10年になります。この保育園ではどろんこ遊び、虫あそび等自然の中でのびのび過ごし、色んな体験をして成長していく姿をすぐ近くで見れて感じれて、保護者や職員で共有し喜び合うことが出来、素敵だと感じています。またこの仕事は何年やってもクラスや年齢によって子ども達の姿も全然違うので、毎年、驚きや発見があり子ども達から学ぶ事もたくさんあります。子どもたちの成長を感じながら子どもたちと一緒にたくさんの経験をして一緒に成長して行けてやりがいのある仕事だと感じています。
(笠松彩乃 29歳)

自然に囲まれた保育園。子どもたちは裸足で元気に走り回り、生き生きとした声が響き渡っています。園庭には果物のなる木がたくさんあり、「まだかな？」と待ちわびている姿がとてもかわいらしいです。大きいクラスの子は実を摘むと、小さいクラスの子に分け与えてくれます。「おいしい」を共有できた子どもたちは微笑みあい幸せそうです。

広い園庭には大きな土山があり乳児クラスの子もたちは足腰を使って一生懸命のぼりおりし、幼児クラスになるとバランスの取れた身体ができ、水を流してダイナミックに滑り降りています。子どもたちは心も体も開放的な遊びを楽しんでいます。職員はそんな子どもたちに寄り添い、声や気付きに耳を傾け、日々の保育を考えています。「保育が楽しい！！」を追求できる、素敵な場所です。
(西原百合子 31歳)

<私たちの保育を映像でご覧ください>

ふじみ愛育会の保育内容を記録した映像が2本あります。ひとつは、ふじみ愛育会の歴史などを紹介した内容です。もう一つは、私たちの保育内容を紹介したものです。どちらも6～7分程度です。ぜひご覧ください。

